

生じ、其葉即墜、一説に此木を以て琴箏を造に、常に鐘磬の聲を聞者を用れば、其音清麗なりと云ふ、又此木を伐れば、氣條を生じ生長し易し、故に和訓義解に云、きりは切也と、摺挿して活す、伐て數日を経るとも枯死せずして新葉を生ず、又其子壁土中に在ること、數十歳を経るとも必生理を失はずして、壁土水氣を得る時は即生ず、其性歳時を知る者なり、秘傳花鏡云、清明後桐始華、桐不華歳必大寒と、

〔重修本草綱目啓蒙〕

喬木二十四

桐

ヒトハグサ古歌

キリ

同木和方書

一名花桐埤雅

白鐵樹物事

紺珠

榮榔同上

小義清異錄

コノ木種生ハ、長ズルコト遅シ、切ル時ハ早く長ズ、故ニキリト名ク、白花桐、紫花桐ノ別アリ、其ニ花ヲ先ニシ葉ヲ後ニス、集解ニ、冬結似子者ト云ハ、冬ヨリ蕾ノ出ルヲ云、二三月ニ至リ花ヲ開ク、形胡麻ノ花ノ如シテ大ニ、長サ一寸餘、長穂ヲナス、色ニ紫白ノ別アリ、花後實ヲ結ズ、黃蜀葵、實ノ如ニシテ、小扁ニシテ尖アリ、長サ一寸餘、内ニ扁薄小子多シ、下シテ生ジ易シ、花衰ル時新葉ヲ生ズ、大ナル者ハ一尺餘、兩對ス、木ハ用テ箱案ノ類ニ作ル俗説ニ、女子ヲ生ルニ桐ヲ栽ユレバ、嫁時ニハ大木トナリ、器物ニ作ルベシト云、桐ヲ栽ユルコトヲ忌マズ、唐山ニテハ栽ユルコトヲ忌ム、事林廣記俗云、桐大則不利、主屢驗ト云、又廣東新語、棟ノ條ニ、村落間凡生女必多植之、以爲嫁時器物ト云、本邦ニテハ、棟ハ刑ニ用ユル故、家ニ栽ユルコトヲ忌ム、是和漢ノ異ナリ、

〔增訂豆州志稿〕

七應

桐

增、各地ヨリ產出ス、白桐、紫桐ノ二種アリ、共ニ器具ヲ作ル良材ナリ、

〔林政八書〕山奉行所公事帳略○中

一、桐木之實熟之時分、檢者、山奉行筆者相合、員數不洩、様取占め帳當座引合、九月中限、錢藏へ寄せ、代錢差替可賣上事、

〔枕草子〕木の花は